

SLyDIF_I でらくらくスライド作成

monaqa

GitHub: <https://github.com/monaqa>

2021 年 6 月 6 日

フレーム作成

フレーム：スライド資料の 1 ページ 1 ページに値するもの
フレーム：スライド資料の 1 ページ 1 ページに値するもの
フレーム：スライド資料の 1 ページ 1 ページに値するもの
フレーム：スライド資料の 1 ページ 1 ページに値するもの*¹
フレーム：スライド資料の 1 ページ 1 ページに値するもの
フレーム：スライド資料の 1 ページ 1 ページに値するもの

- フレーム：スライド資料の 1 ページ 1 ページに値するもの
- SLyDIF_l では 3 種類のフレームを区別する
 - 見出し：スライド全体の題目，発表者名などを載せるフレーム
 - セクション見出し：セクションのタイトルを載せる
 - 本文：通常のフレーム

¹ 本当に？

はじめに

SL_YDIF_I: SAT_YSF_I のスライド作成用パッケージ

- SAT_YSF_I
 - 静的型付き関数型言語ベースの新たな組版処理システム
 - 普通の文書作成時にはそこまで関数型言語を意識しなくてよい
 - パッケージの記述に用いる構文は OCaml 風
- SL_YDIF_I
 - SAT_YSF_I でスライドを作成することができる